

カッティングドライバを使ったIllustrator8/9/10からの標準的な出力方法

For NewDriver

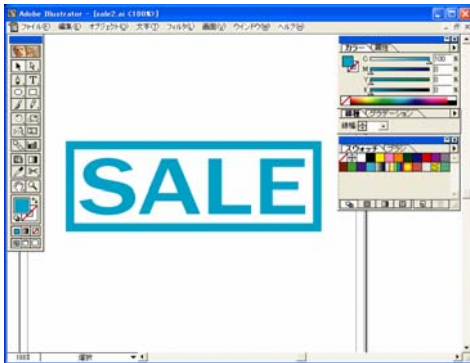
I. ワークフロー

ここではAdobe Illustrator 8/9/10のWindowsドライバによる標準的な出力方法について説明します。
この方法を使用すれば、画面のレイアウトどおりに出力させることが可能です。
作業の流れとしては最初にWindowsドライバでカッティング出力するために必要なデータの加工を行い、次にIllustrator上で各種出力設定を行います。
なお使用例として“SV-8”と“Illustrator 8”による出力方法を紹介していますが、他の機種や“Illustrator 9/10”との組み合わせでも利用可能です。

II. 操作方法

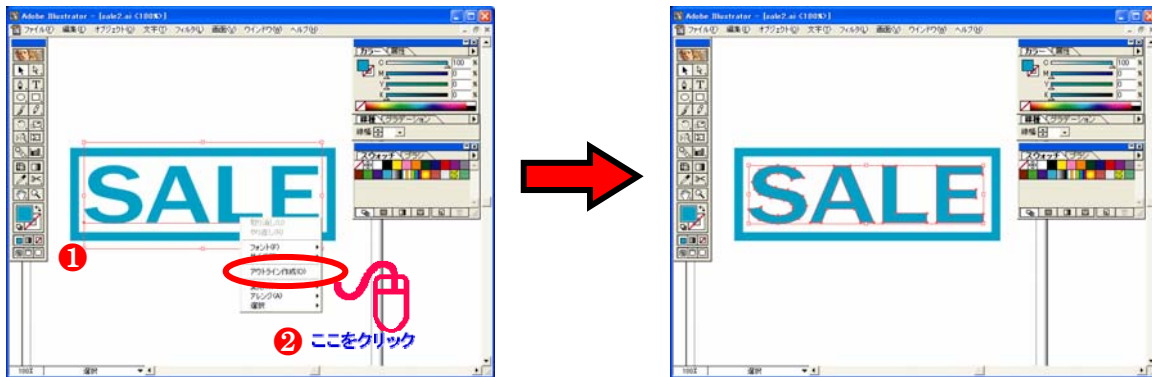
1. カッティング用データへの加工

1) 出力するデータを開きます。



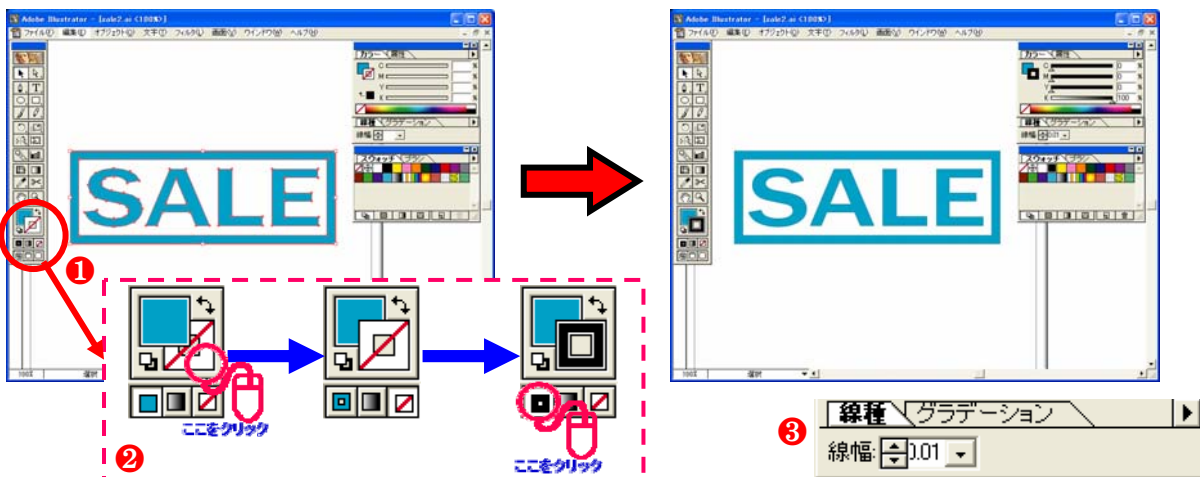
2) 文字をアウトライン化します。

- ① 文字部分を選択して、選択した状態でマウスの右ボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
- ② [アウトラインを作成]をクリックして文字をパス(線)データに変換します。



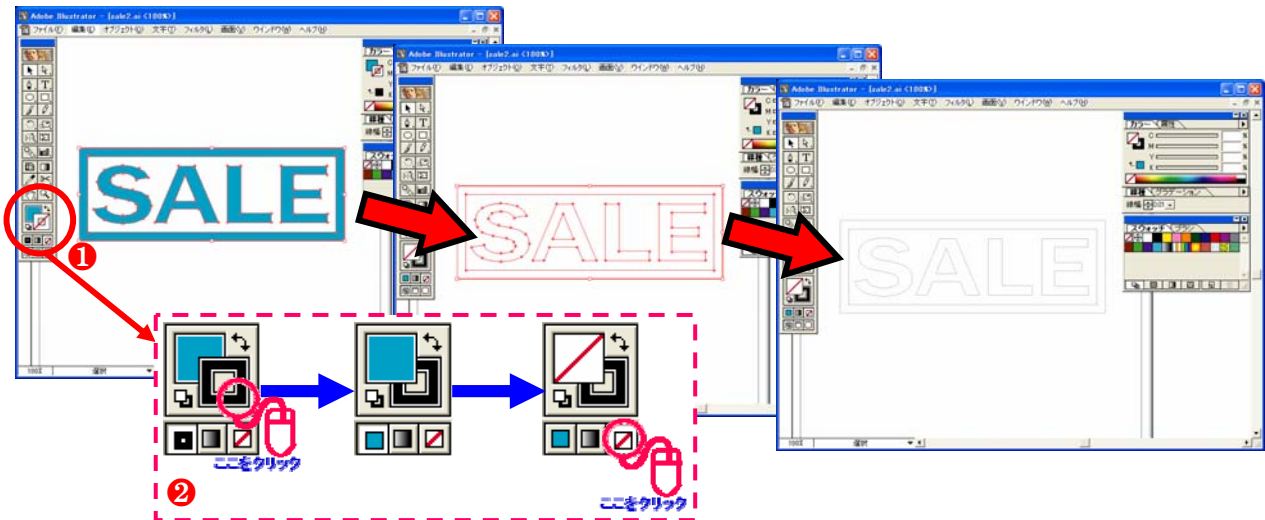
3) すべてのオブジェクトにパス(線)を与えてパスの線幅を0.01ptにします

- ① 画面上にあるすべてのオブジェクトを選択します。
- ② ツールボックス下部にある「塗りと線のコントロール」を操作してすべてのオブジェクトに任意の色のパスを与えます。
- ③ パスの線幅を[0.01pt]と入力します。(Illustrator 9/10の場合は[0.001pt]と入力します。)



4) すべてのオブジェクトの「塗り」をなしにします。

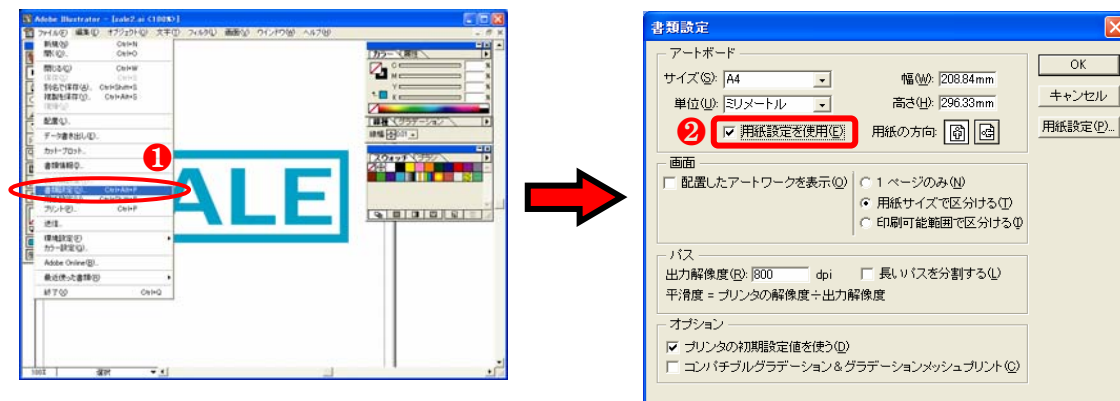
- 1) 画面上にあるすべてのオブジェクトを選択します。
- 2) ツールボックス下部にある「塗りと線のコントロール」を使用してすべてのオブジェクトの「塗り」をなしにします。



2. 出力設定

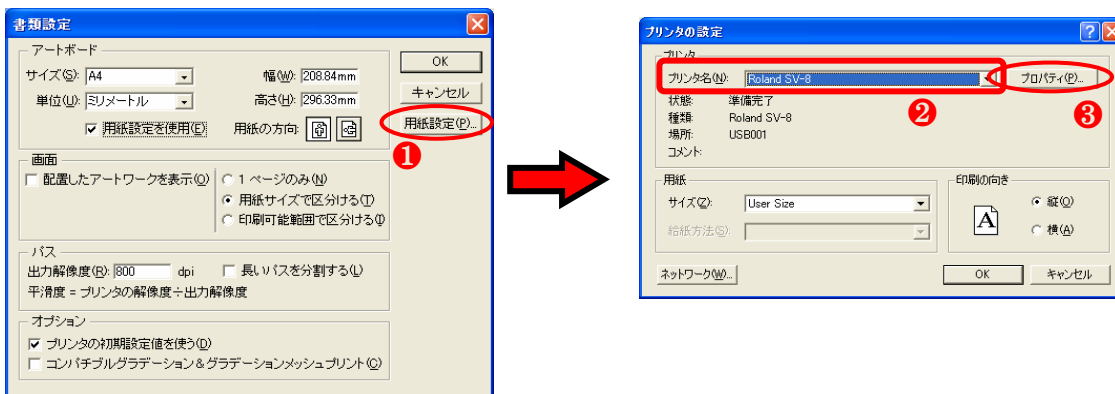
1) 書類設定を開いてアートボードを出力する用紙設定サイズに合わせます。

- 1) [ファイル]のプルダウンメニューから[書類設定]をクリックします。
- 2) [用紙設定を使用]にチェックを入れます。



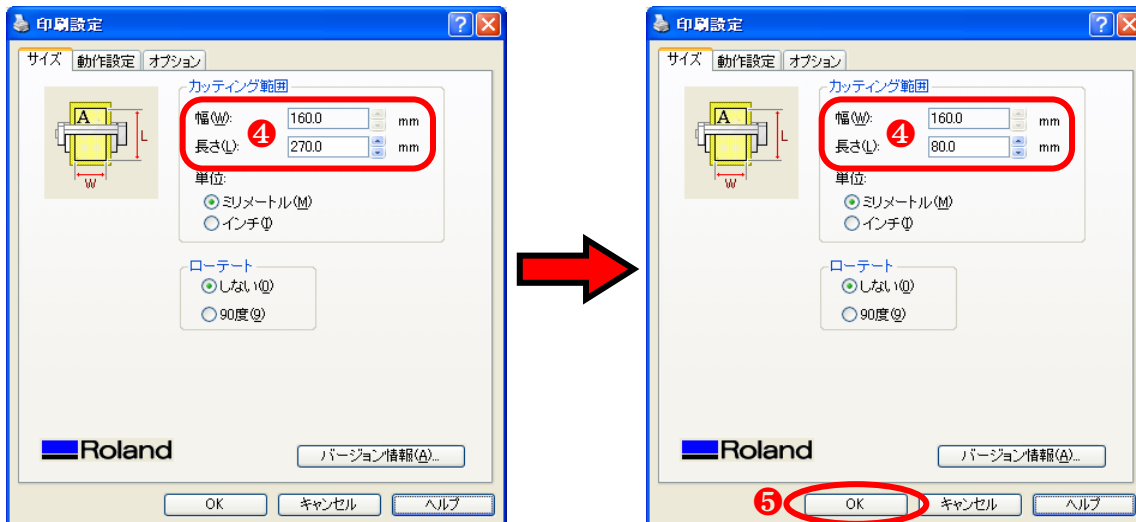
2) プリントドライバの用紙サイズを変更します

- 1) [用紙設定]ボタンをクリックします。
- 2) プルダウンメニューからプリンタを選択してプリント名を[Roland SV-8]に切り換えます
- 3) [プロパティ]ボタンをクリックして[印刷設定]画面を開きます。



- ④ [印刷設定]画面が表示されますので、必要な[幅]と[長さ]を設定します。
ここでは[幅:160mm]、[高さ:80mm]とします。

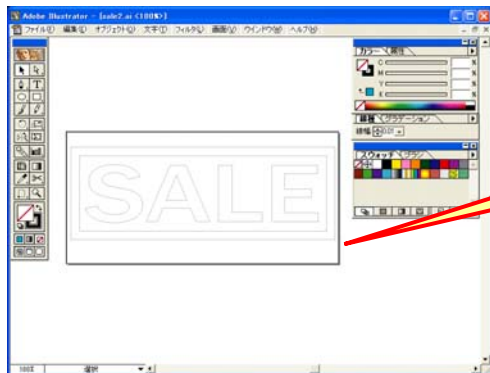
- ⑤ [OK]ボタンをクリックして[印刷設定]画面を閉じます。



※STIKAシリーズの[幅]は機種ごとに固定されています。ただしSX-15/SV15は幅を2種類選択することができます。
(180mm or 340mm)

- ⑥ [プリンタ設定]画面、[書類設定印刷]画面を順番に[OK]ボタンをクリックして閉じてゆきます。

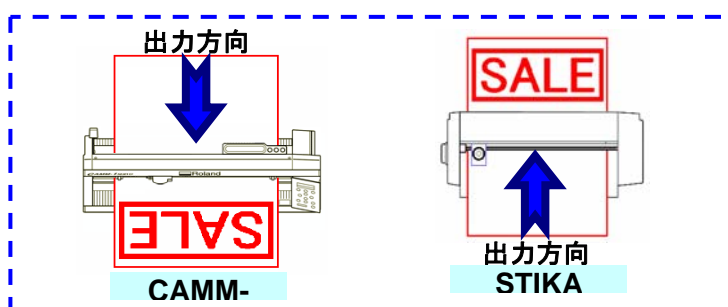
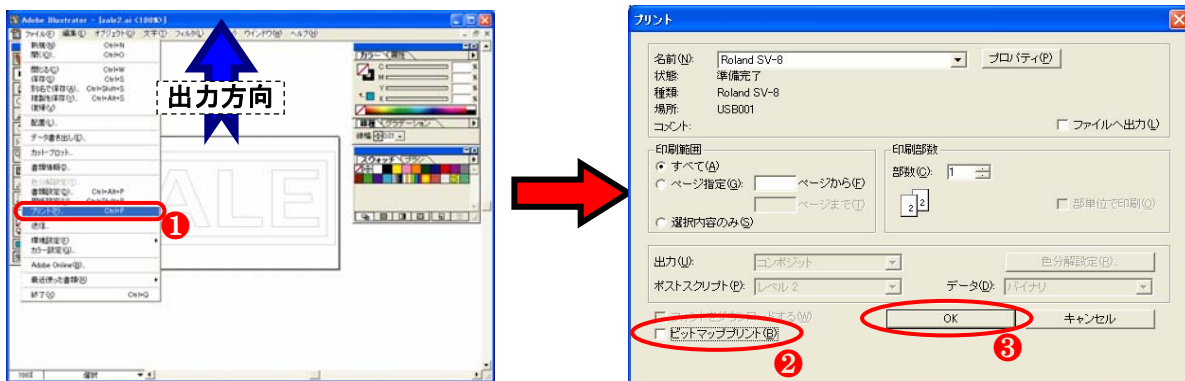
- ⑦ アートボード内にデータが納まっているか確認します。



※アートボード内にデータが納まっていない場合はアートボードの枠内にオブジェクトを移動させてください。

3) 出力を開始します。

- ① ファイルメニューのプルダウンメニューから[プリント]を選択します。
② [詳細設定]にある[ビットマッププリント]がチェックされていないことを確認します。
③ [プリント]画面下側にある[OK]ボタンを押すと出力を開始します。



右図のように上側に向けて出力されます。